

平成三十一年の新年祈願祭

塩山 耕司

今年の新年祈願祭は、昨年と同じ三十五名の参加を頂きました。多くの会員のご参加に感謝いたします。

皆様ご承知の通り、日牟礼八幡宮の歴史は三世紀頃からありますが、本格的な「社」は九九一年に八幡山に「社」を建て、「上の八幡宮」を祀り、一〇〇五年に「社」を麓に建て「下の社」と号すとあって、現在の「社」が完成しました。豊臣秀次公の八幡城築城に伴ない、「上の八幡宮」を麓の「社」に合祀し、秀次公亡き後は、「上の社」は建設されず現在に至っています。以来一千年近く八幡の人々からは崇敬され、特に江戸時代以降は八幡商人の商売繁盛や成功を願って崇敬されました。昨年は、ガイドやお客様に大きな事故もなく過ぎました。今年も八幡宮の加護を受け、我々自身はもとより、お客様の安全に気を付けて、頑張っていただけだと思います。また、今年厄年の方を含めて、今後の人生の一層の発展を祈願するものです。

塩

平成三十年「近江八幡ふるさと観光塾」

開催中!

研修部 武藤 宏行

既に恒例となりました「近江八幡ふるさと観光塾」が本年も開講されています。市民の皆様に住み慣れたふるさとでもあり、生活の場となっている近江八幡の本当の姿を、この塾で再発見して頂きます。

学校の歴史の授業で学んだ記憶さえ覚束ない、縄文・弥生・古墳時代の人々の生活の跡が残っています。京都と比べてもより古い神社仏閣の重文建造物が豊富です。その後には武士が暴れ回った時代の城跡が多く残され、特に天守閣のある近世の城と、碁盤目状の城下町はこの町からスタートしています。江戸時代に全国を飛び回った商人達の生活の様子を彷彿とさせる町並みを目にすることが出来ます。これが近江八幡です。

年度が明けると、住んでよかった町・近江八幡の歴史を学んだ塾卒業生が観光客の前で説明する、明るい声が町中に響き渡って、それを聞く楽しそうな観光客が口々に呟くこんな声が聞こえてくるに違いありません。

「何て素敵なお街でしょう。必ずもう一度来ます」と!

